

無償用地で幅40mのシンボルロードを

(一般質問の続き) 駅正面は、草木が繁茂するジョンソン基地跡地でさえぎられ、異常な形態です。

私は、市民が憩い、市民まつりやイベントが可能で、彩の森公園へ導く幅40mの「シンボルロード(仮称)」の建設を計画すべきだ、と提案しました。

市長は「良い案であり、公園と合せ全体計画に位置づけたい」と取り組む姿勢を示しました。



入間市駅正面をさえぎる留保地

市長は「市が全体の計画を作って推進するが、時間はかかる」と消極的姿勢の答弁でした。

その他、50年ぶりの改正で、市民の権利となったスポーツ基本法でスポーツ推進について教育長に質問しました。ご意見をお寄せください。

馬頭坂線への道路建設を

26年早々に国道16号4車線化と馬頭坂線が開通予定です。

私は、その成果を生かすためにも、駅前から馬頭坂線への道路建設を急ぐべきと要請しました。

市長は、財政問題はあるが、出来るだけ早く進めたいと答弁しました。

道路、公園用地で11億円

駅前広場の拡張と2道路の用地は無償であり、公園用地は3分の1価格です。

私は「合計3万6000㎡の購入価格が11億円余であり実現可能だ。都市計画決定権は入間市にあり、積極的推進をすべきだ」と質問しました。

初夢的な今年の目標

ハーモニカの分散和音に挑戦し、人前で吹けるようになること。足を鍛え、おとろえを感じずに、テニスができるようになること。マンネリを打破し、新しいことに挑戦すること。

義援金募金・ご意見、赤旗購読
申し込みは 石田よしおへ
電話Fax 2964-4048 携帯070-5086-2075
日本共産党入間市議団HPをご覧ください

道路・広場・公園用地で計11億円、積極的に駅前留保地への取り組みを

おめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

自公政権に変わった民主党政権はマ

ニフェストを投げ出し、さらに国民いじめの悪政を推進しています。みんなで世直しする以外に生活を守る道がありません。今年こそ政治を変えましょう。12月議会の一般質問を報告します。



積極的な朝霞市の取り組み

市の玄関口である入間市駅前にフェンスに囲まれ草や木が繁茂する基地留保地7万6000㎡が未利用のまま放置されています。

私は、基地跡地留保地活用が進んでいないが、朝霞市や立川市で積極的に進行しているのはなぜか、と質問しました。

市長は「入間市の跡地は高低差が

あるが、両市は財政力が豊かで都心に近く利用価値が高いからだ」と言い訳をしました。

駅前広場問題解決のために

市の玄関口の入間市駅西口広場に市民用の送迎用駐車場がないため、トラブルが発生しています。

私は、駅前広場の問題点と解決策はあるのかと質しました。

市長は「駐車場の必要性を認識している、駅前から馬頭坂線への道路建設で解決するしかない」と跡地利用の必要性を認めました。(4面へ)



入間市駅から見た基地跡地の留保地

日本共産党入間市議会議員

石田よしお市議会報告

(2012年1月号) 入間市上藤沢688-8

電話・fax 2964-4048 携帯070-5086-2075

ホームページ:「日本共産党入間市議団から石田よしお」へ



H25年度より埼玉西部消防組合発足へ 12月定例市議会

広域化で市民の安全守れるか

今議会に提出された20議案は全て可決・成立しました。共産党は「埼玉西部消防組合の設立」と「国民健康保険条例の改正」の2議案に反対し、他の議案には賛成しました。

議会開会日には9月議会に提出されていたH22年度決算の採決が行われました。共産党は一般会計と国保・後期高齢者医療・狭山台区画整理の各特別会計に反対しました。

5市(入間市、所沢市、狭山市、飯能市、日高市)の消防組織をひとつにする「埼玉西部消防組合の設立」の議案は、入間市議会では共産党以外の全ての会派が賛成し、

公明党金澤議員の役職等辞任で市議会常任委員長などを再選出

12月議会中に、金澤議員より「委員長などの役職と議会改革特別委員」を辞任する申し出がありました。都市経済常任委員長に友山議員、交通対策特別委員会委員長に宮岡治郎議員、議会改革特別委員会副委員長に宮岡幸江議員が就任し、議会改革特別委員会委員に永澤議員を指名したという議長報告がありました。

可決されました。他4市の議会でも賛成多数で可決され、これでH25年4月から5市の消防広域化が実施されることになりました。

市民不在で消防力低下と負担増

5市の消防がひとつにされると管轄面積は現在の45km²から406km²となり、そのうち44%が山間地域で、職員の負担が増え地理不案内がでる恐れがあります。さらに入間市では、現在2台あるはしご車のうち藤沢分署のはしご車が削減され、「消防力の強化」どころか低下を招きます。

広域化のための協議会は非公開で行われ、市民説明会も周知が不十分で少ない

参加者のなかで行われました。これでは市民の合意を得られたとは言えません。

広域化すると入間市の負担は、5年間で9200万円も増加。県内の自治体で広域化が進んでいないのは、こうした矛盾があるからです。いま求められているのは大災害に備えた消防力であり、地域に密着した自治体消防の強化こそ必要です。



国保の限度額が59万円から77万円の大増に

国民健康保険税の限度額を大幅に引き上げる議案は、日本共産党以外の全会派の賛成で可決されました。

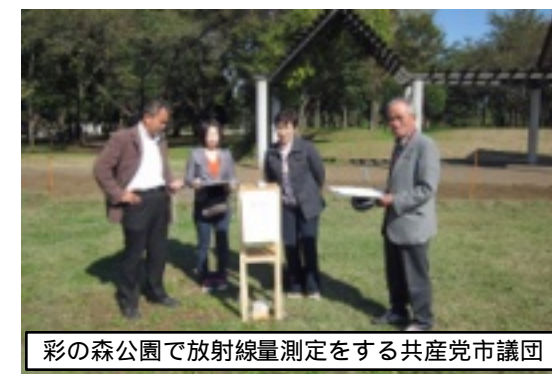
国保税の限度額が医療給付分、後期高齢者支援金等分、介護納付金分の合計59万円から77万円に、一気に18万円も引き上げられ831世帯に影響がでます。

今回の条例改定は国保の広域化を見ずえたもので、広域化されると更なる保険税の引き上げ、負担増につながります。

この間、国保の収納率は90%以下に落ち込んでいます。国保税が高すぎて払えない世帯が増えるなか、広域化につながる限度額の引き上げは認めることができません。

日本共産党は「長期滞納者をださないよう申請減免制度の改善と、法定減免を現行の6割・4割減免から7割・5割・2割減免に改定して、低所得層を救済する対策こそ急ぐべき」と主張しました。

放射線測定を行います



彩の森公園で放射線量測定をする共産党市議団

日本共産党入間市議団は、市役所と同機種の放射線量測定器(HORIBA APA-1000)を購入しました。

みなさんの要望に応じて測定に出向きます。連絡は下記の共産党議員まで遠慮なくお寄せ下さい。

共産党議員の一般質問

石田よしお議員

基地跡地の留保地問題、スポーツ振興

小出わたる議員

T P P、中橋、仏子交差点、30人学級

安道よし子議員

放射能から子どもを守れ、踏切改修を

日本共産党市議会報告

2012年1月 発行/日本共産党入間市議会議員団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883